



第70期 第2四半期(中間)報告書

平成27年10月1日から平成28年3月31日まで



加藤産業株式会社

証券コード：9869



JQA-EM4237

株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第70期第2四半期(中間)決算につき、その概要をご報告申し上げます。

食品流通業界におきましては、国内の雇用環境及び所得環境は堅調に推移しているものの、昨年までの円安・原材料価格高騰等による商品の値上げ浸透が家計への負担感を強め、日常生活関連消費については生活防衛意識の強さが続いています。さらに、内食化傾向が続く一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化を背景とした企業間競争は一層激化し、人手不足に伴う物流コストの負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において当社グループは、卸売業の役割である「つなぎ」と提案型営業を推進し、営業力のさらなる強化により小売業をはじめとした取引先との取り組みを一つひとつ積み重ね、店舗の売場づくり及び商品開発力のレベルアップを図ることで、価格だけに頼らない価値の提供に取り組みました。また、物流をはじめとした諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションにより経営の合理化に努めました。

また、平成27年12月には、(株)植嶋より菓子卸売事業を譲り受け、菓子カテゴリーの拡充に向けて営業を開始いたしました。

海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置付け、既に事業展開している中国・ベトナム・シンガポ

ールと日本を含めたアジア諸国間の食品流通インフラの構築を進めており、平成28年1月にはベトナムに本社を置くToan Gia Hiep Phuoc Trading and Food Processing Joint Stock Companyの株式譲渡契約を締結し、アジア地域における一層の事業展開の強化を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて4.0%増加し、4,805億4百万円となりました。利益につきましては、利益管理の徹底及び諸経費の抑制に努めたものの、営業利益は43億7百万円(前年同四半期比12.0%減)となり、経常利益は48億84百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ17.1%減少し、27億46百万円となりました。

なお、中間配当金は、当初予想のとおり1株につき23円とさせていただきます。また、平成28年9月期末につきましても1株につき23円を予定しており、年間配当予想で46円といたします。

通期の見通しにつきましては、引き続き先行き不透明感が強く、企業間競争は厳しい状況にあります。当期の基本方針である「提案力の強化」「基本の徹底」「ムダの徹底排除」に則り、第70期計画の達成に向けて邁進いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長 加藤 和弥

売上高	4,805億 4百万円	前年同四半期比 4.0%増加	▲
営業利益	43億 7百万円	前年同四半期比 12.0%減少	▼
経常利益	48億84百万円	前年同四半期比 10.5%減少	▼
親会社株主に帰属 する四半期純利益	27億46百万円	前年同四半期比 17.1%減少	▼

カンピー誕生60周年・グリーンウッド誕生30周年

当社が製造・販売しております「カンピー」ブランドは、1956年に設立された関西ピーナツバター(株)を由来とし、社名であったピーナツバターやジャムなど、生活者のニーズにお応えする豊富な品揃えを実現することにより、多くのお客さまにご支持をいただいております。1986年には、こだわりのジャムブランドとしてご愛顧いただいております「グリーンウッド」ブランドを発売いたしました。

近年では、女性のみによる商品開発チーム「西宮なでしこプロジェクト」を充足し、「カンピー よくばりDeliシリーズ」を発売するなど、女性目線、消費者視点での商品開発にも取り組んでおります。

積み重ねてきた歴史を胸に、安全安心で生活者の視点に立った価値ある商品をご提供し、「豊かな食生活」に貢献してまいります。

「カンピー ファミリーサイズジャム」シリーズをリニューアル

カンピー誕生60周年を記念して「カンピー ファミリーサイズジャム」シリーズ(全4品)をリニューアルいたしました。今回のリニューアルではデザインを一新し、ユニバーサルデザイン瓶(軽量化と開けやすさを追求)を採用しております。また、糖度を67度(高糖度)から62度(中糖度)へ変更し、新たにレモン果汁を配合することで、すっきりとした甘みと酸味を味わっていただけます。「カンピーファミリーサイズジャム」は、義援金を含んだ復興支援商品として製造・販売し、その義援金を被災地各県に寄付させていただいてきました。この度の商品リニューアル後も引き続き、被災地の窓口を通じてお届けいたします。

ベトナムにおける食品卸売事業を強化

当社は、2016年1月にベトナムに本社を置くToan Gia Hiep Phuoc Trading and Food Processing Joint Stock Company(以下、TogiCo)の株式を取得することについて、株式譲渡契約を締結いたしました。

TogiCoは、ホーチミンおよびハノイに営業拠点を持ち、ベトナムにおいて主要な小売業者との強い取引関係を築き上げたことで、本国において確固たる地位を確立している有力食品卸売企業であります。

当社グループは、すでにベトナムにおいて事業を展開しておりますが、本件買収により同国における存在感をさらに高めるとともに、すでにアジア地域において展開している中国およびシンガポールとの協業を進めることで、より一層の海外事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

【会社の概要】

社 名: Toan Gia Hiep Phuoc Trading and Food Processing Joint Stock Company
 所 在 地: Lot B3d, Zone B, Hiep Phuoc Industrial Zone, Hiep Phuoc Commune, Nha Be District, Ho Chi Minh City, Vietnam
 代 表 者: Nguyen Trong Dinh
 設 立: 2005年7月21日
 事業内容: 食品卸売業
 資 本 金: 5,000百万ベトナムドン

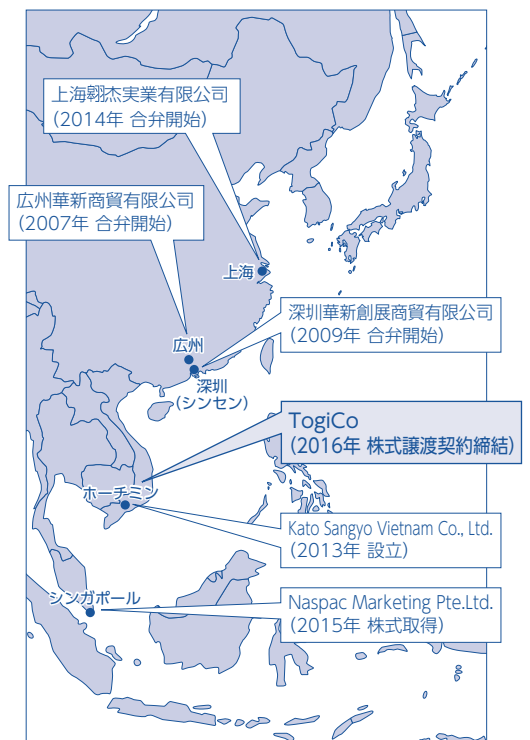


■カンピー・グリーンウッドのあゆみ

- 1956年 関西ピーナツバター(株)設立(カンピー誕生)
- 1957年 カンピー食品工業(株)に社名変更
- 1963年 兵庫県上郡町へ移転
カンピージャム生産開始
- 1970年 上郡工場設立
(カンピー食品工業(株)より営業権譲り受け)
- 1986年 グリーンウッド 果実缶詰発売
(グリーンウッド誕生)
- 1997年 グリーンウッド 手造りジャム発売
- 2013年 西宮なでしこプロジェクト始動
- 2016年 カンピー誕生60周年
グリーンウッド誕生30周年



(旧) (新)
 カンピーファミリーサイズジャム
 (1商品あたり、3円の義援金)
 2016年9月25日製造分まで





常温流通事業

低温流通事業

酒類流通事業

売上高

3,359億88百万円

(前年同四半期比5.0%増加)

493億21百万円

(前年同四半期比6.1%増加)

996億24百万円

(前年同四半期比0.7%減少)

営業利益

33億85百万円

(前年同四半期比10.0%減少)

△6百万円

(前年同四半期は営業利益1億58百万円)

3億66百万円

(前年同四半期比9.2%減少)

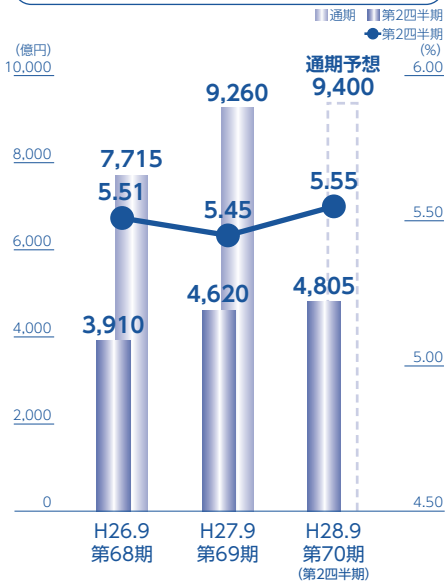
※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。



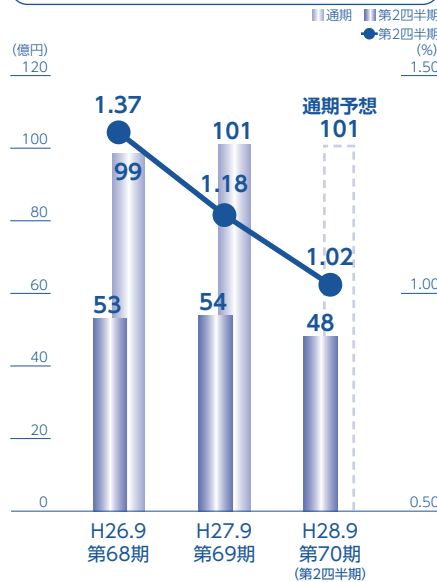
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

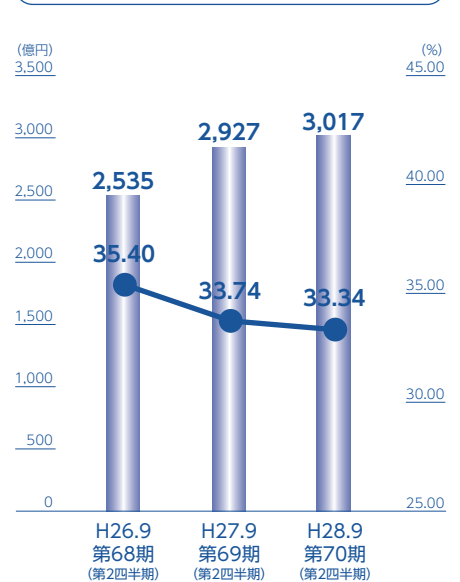
●売上高 & 販売管理費率



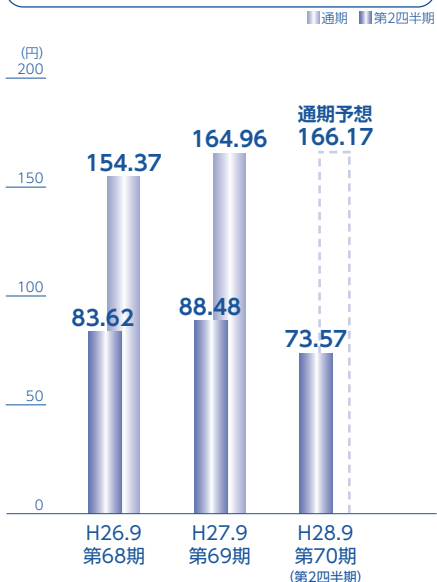
●経常利益 & 経常利益率



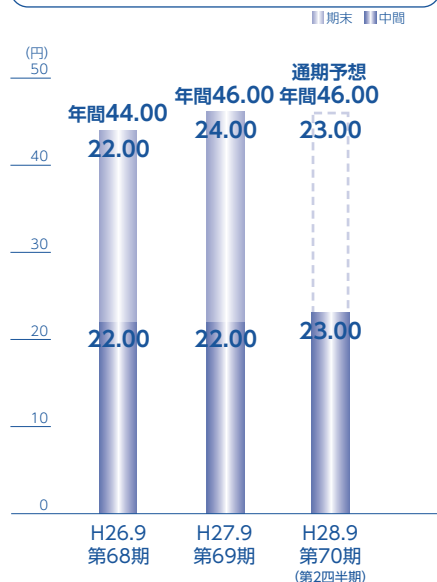
●総資産 & 自己資本比率



●1株当たり四半期(当期)純利益



●1株当たり配当金



■第70期通期予想



会社概要

名称	加藤産業株式会社
設立	昭和22年(1947年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	990名

役員(取締役・監査役)及び執行役員

代表取締役社長	加藤 和 弥	監査役	弥谷 恵太郎
専務取締役	治居 義 継	監査役	相良 広 基
専務取締役	小林 隆 夫	社外監査役	山村 幸 治
常務取締役	福島 和 成	社外監査役	田島 鉄 郎
常務取締役	木村 敏 弘		
常務取締役	神月 豊	執行役員	打田 雅 俊
取締役	山中 謙 一	執行役員	菅 公 博
取締役	太田 尚 史	執行役員	小野 聡
取締役	中村 考 直	執行役員	日比 啓 介
社外取締役	宮井 真千子	執行役員	河野 均
社外取締役	八十川 祐 輔		

主要グループ会社

会社名	事業内容
国内	
卸売業	◎ ケイ低温フーズ(株) 低温食品卸売業
	◎ 三陽物産(株) 酒類・食品卸売業
	◎ ヤタニ酒販(株) 酒類・食品卸売業
	◎ 九州加藤(株) 食品卸売業
	◎ カトー菓子(株) 菓子卸売業
	◎ エス・エイ・エスジャパン(株) 酒類・食品卸売業
	◎ (株)植嶋 菓子卸売業
	◎ カトー酒販(株) 酒類・食品卸売業
海外	
	◎ Naspac Marketing Pte.Ltd. 食品卸売業
	◎ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd. 食品卸売業
	△ 上海翔杰実業有限公司 食品卸売業
物流	
	◎ マンナ運輸(株) 運送業
	◎ 沖縄ロジスティクス(株) 物流業務請負業
	◎ カトーロジスティクス(株) 運送業
メーカー	
	◎ 和歌山産業(株) 食品製造業
	◎ 兵庫興農(株) 食品製造業
外食	
	◎ (株)アドバンス・キッチン 飲食業
その他	
	◎ 加藤不動産(株) 損害保険代理店業
	◎ 加藤SCアジアインベストメント(株) 海外事業投資業

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

「環境・社会報告書」発行

当社は、毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行しています。今回は、「グループ企業の取り組み」や「地域・社会との関わり」に関する情報を多く掲載し、社会的側面に関する内容を充実させました。



詳細データ等は、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>

株式の状況

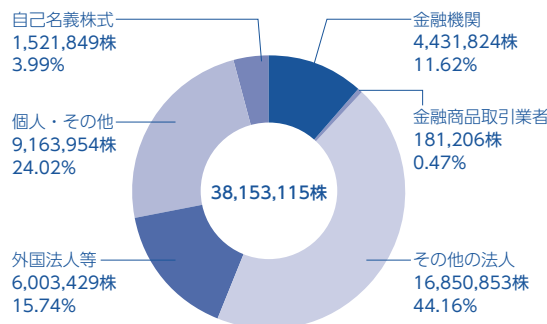
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	6,228名(内、単元株所有者数：5,943名)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,153	8.61
住友商事株式会社	1,931	5.27
三菱商事株式会社	1,787	4.88
加藤和弥	945	2.58
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	931	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	911	2.49
株式会社加藤興産	850	2.32
キューピー株式会社	841	2.30
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.29
カゴメ株式会社	731	2.00

*持株比率は自己株式(1,521,849株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



*1単元の株式数=100株

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 同
 連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 (お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



加藤産業株式会社
<http://www.katosangyo.co.jp/>

